13 保健管理等に関する事項

学生生活を総合的に支援することを目的として発足した保健管理センターは、心身の健康の保持・増進を図る体制の構築、深草学舎、瀬田学舎、大宮学舎の保健管理センターの整備、「こころの相談室（学生相談）」「なんでも相談（学生部）」の開設などを通して学生支援を行ってきた。

特に2009年4月から大学敷地内を全面禁煙化にしたことに伴い、「受動喫煙の防止」、「すべての関係者の健康保持・増進」、「命を大切にする学生教育」を目的として、学友会と協力して禁煙キャンペーン等を実施した。

その他、麻しん（はしか）などの感染症対策、救命講習の実施、発達障がい学生への支援の検討、診療の充実、健康診断項目の充実等に取り組んできた。

1 保健管理について

● こころの相談室のWeb予約の開始

悩みを抱える学生がより気軽に相談できることを目的として、従来のこころの相談窓口予約に加えて、2009年度よりWebによる相談予約を開始した。

● 学内全面禁煙に伴う活動推進

2009年4月からの敷地内全面禁煙に伴い、受動喫煙防止やすべての関係者の健康保持・増進、命を大切にする学生教育を目指して様々な取り組みを推進した。特に学友会組織と協力し、禁煙キャンペーンを積極的に行い、相談を受けた上でニコチンパッチを配付するなどの対応を図った。

● 麻しんへの対応

2007年度に関東及び関西の大学生を中心に流行した麻しんへの対応として、2008年度に文部科学省から各大学へ麻しん等予防接種状況の把握に関して通達があった。これに関して2009年度入学予定者に対して予防接種の勧奨および入学生に接種状況の調査を実施した。あわせて、学生へ注意喚起を積極的におこなった。

● 新型インフルエンザへの対応

2009年4月末から世界的に感染拡大が起こった新型イン

フルエンザへ対応するため、学内に設置された対策本部に対して、医学的見地からの情報提供を行った。また、保健所と協力し学生や教職員、関係者への注意喚起や対応方法についてWEBサイト、ポータルサイトを通じて情報提供を行った。その他にも、保健所の医師や保健師を講師に招き、学園祭などのイベント運営に際しての感染拡大防止について講演会を行った。

● 薬物乱用防止セミナーの開催

他大学において学生が大麻栽培や乾燥大麻販売で逮捕されたケースを紹介し、ドラッグの危険性について講演会を開催した。

● 熱中症対策セミナーの開催

サークル代表者やマネージャーを主な対象として、夏期休業中におけるサークル活動中の事故を未然に防ぐことを目的に熱中症対策セミナーを開催した。

● 普通救命講習会の開催

各種行事の学生実行委員が、行事開催にあたり、緊急時の対応を想定しての講習会を開催した。また、AEDをキャンパスのどこからでも3分以内に使用できるようにすべての建物に設置し、全国の大学でもトップクラスの62台を設置した。

2 診療について

● こころの病の早期発見、治療導入によるメンタルヘルスケアを開始

精神科医師による精神科相談・診療に加えて、学生定期健康診断に際し、問診票による心の健康関連項目（既往歴）調査をした上で、必要に応じてメンタルヘルスケアをおこない、学生支援に結びつける仕組みを導入した。

● 診療体制の充実

学生、教職員の健康の維持増進のために学医を任用し診療体制を構築した。また、学医の任用については、大学病院及び近隣医療機関に依頼し、近隣医療機関との連携関係の強化を図ることにより、本学診療所の診療時間外や緊急時等においても、対応を行える環境を整備した。